

レジメン登録フォーマット

申請年月日	令和5年11月28日	使用開始日	
登録診療科	乳腺外科	申請医師	小西宗治
レジメン名	フェスゴMA【維持】+ビノレルビン【2コース目以降】		
疾患名	乳がん(HER2陽性進行再発乳がん)	適応の備考	HER2陽性の手術不能又は再発乳がん
適応分類	進行・再発		
1コース日数	21 日間	総コース数	有効な限り コース 催吐性リスク 最小度

抗がん剤投与量・投与日 フェスゴMA day1、ロゼウス(ビノレルビン)注25mg/m² day1,8

治療スケジュール・投与日程(投与日は●) (day)

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	なし																								
	皮下注射	フェスゴ配合皮下注【MA】	10 mL / body		●																				
調製後4時間以内に使用 5分以上かけて皮下投与																									
2	主ルート	生食20mL	1 本 / body		●																				
	中心静脈注射																								
3	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																				
	中心静脈注射																								
ブライミング用																									
4	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																				
	中心静脈注射	ロゼウス注	25 mg / m ²		●																				
5	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																				
	中心静脈注射																								

【投与上の注意】

このレジメンは、フェスゴ(ペルツズマブ、トラスツズマブ)2回目以降の投与患者に使用する。

フェスゴ皮下注: 何らかの理由により予定された投与が遅れた場合には、以下のとおり投与することが望ましい。

①前回投与日から6週間未満のとき: 維持投与量(フェスゴ MA)を投与する。

②前回投与日から6週間以上のときには、改めて初回投与量(フェスゴ IN)を投与し、次回以降は維持投与量(フェスゴ MA)を3週間間隔で投与する。

フェスゴ皮下注: 初回投与時は、8分以上かけて大腿部に皮下投与、2回目以降は、5分以上かけて大腿部に皮下投与する。

フェスゴ皮下注: 大腿部以外への投与は避ける。

フェスゴ皮下注: 注射部位反応が報告されているため、同一箇所へ繰り返し注射することは避け、左右の大腿部に交互に投与する等、前回の注射部位から少なくとも2.5cm離す。

フェスゴ皮下注: 皮膚が敏感な部位、皮膚に異常のある部位(傷、発疹、発赤、硬結等)には注射しないこと。

フェスゴ皮下注: 初回投与時は30分の経過観察、2サイクル目以降は、Infusion reaction等の問題がなく、忍容性が良好であれば、観察時間は15分まで短縮可

・パージェタ+トラスツズマブ(IV)からフェスゴに切り替える場合

パージェタ+トラスツズマブ(IV)の直近の投与日から6週間未満のときにはフェスゴMA(維持投与量)を、6週間以上のときにはフェスゴIN(初回投与量)を投与し、その後は3週間毎にMA(維持投与量)を投与する。

・フェスゴからパージェタ+トラスツズマブ(IV)に切り替える場合

フェスゴの直近の投与日から6週間未満のときにはパージェタ、トラスツズマブともに維持投与量(パージェタ: 420mg、トラスツズマブ: 6mg/kg)を、6週間以上のときにはパージェタ、トラスツズマブともに初回投与量(パージェタ: 840mg、トラスツズマブ: 8mg/kg)を投与し、その後3週間毎に維持投与量を投与する。